

# 第10回不動産投資に関する意識調査

## 結果報告書

健美家株式会社

## 【目次】

1. 金融機関の融資について	3 p ~ 13 p
2. 収益物件の価格について	14 p ~ 18 p
3. 2018年4月以降の物件購入について	19 p ~ 20 p
4. 災害リスクについて	21 p ~ 22 p
5. アンケート回答者の属性	23 p ~ 25 p

## 【調査対象】

健美家(けんびや)登録会員約76,000名

## 【有効回答数】

386名

## 【調査期間】

2018年10月10日(水)~10月24日(水)

## 【調査方法】

インターネット上でのアンケート回答

## 【調査トピックス】

金融機関の融資について

・「厳しくなった」・・・59.8% (3 p)

収益物件の価格について

・「価格は下がり始めた」・・・37.0% (14 p)

2018年4月以降の物件購入について

・「積極的に探している」・・・56.0% (19 p)

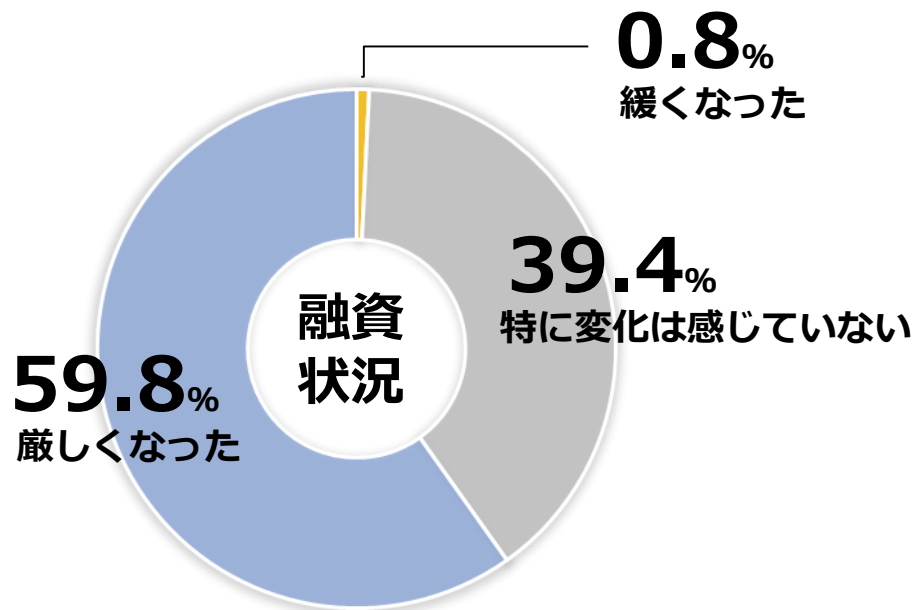
災害リスクについて

・「調べた」・・・65.3% (21 p)

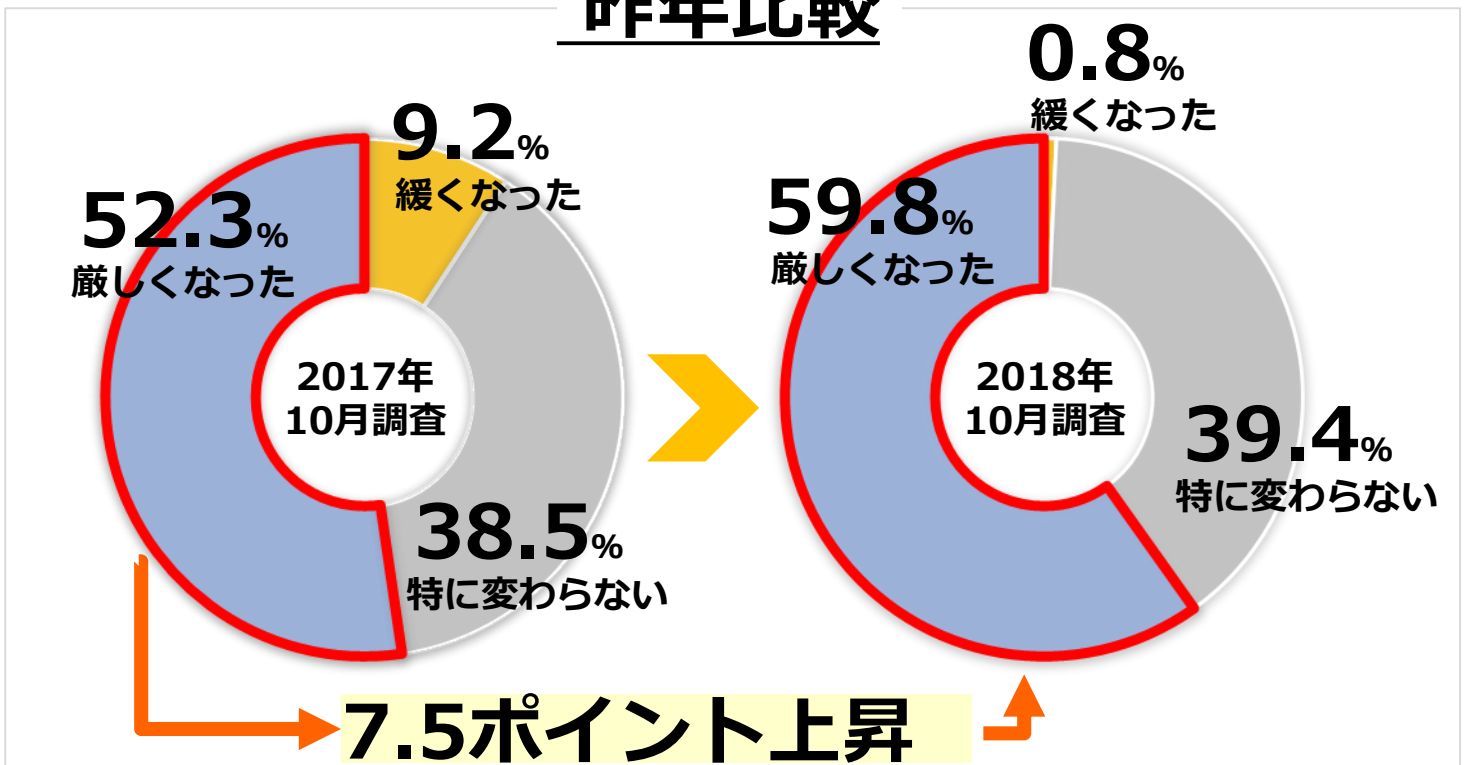
Q 融資の環境は1年前と比べて変化がありましたか？

## 「厳しくなった」が59.8%で昨年より7.5ポイント増

1年前より、融資環境は厳しさを増している状況がうかがえる。一方で「特に変わらない」(39.4%)は昨年より0.9ポイント増。



### 昨年比較



※昨年の質問「2017年以降、金融機関の融資状況について、実感値は？」

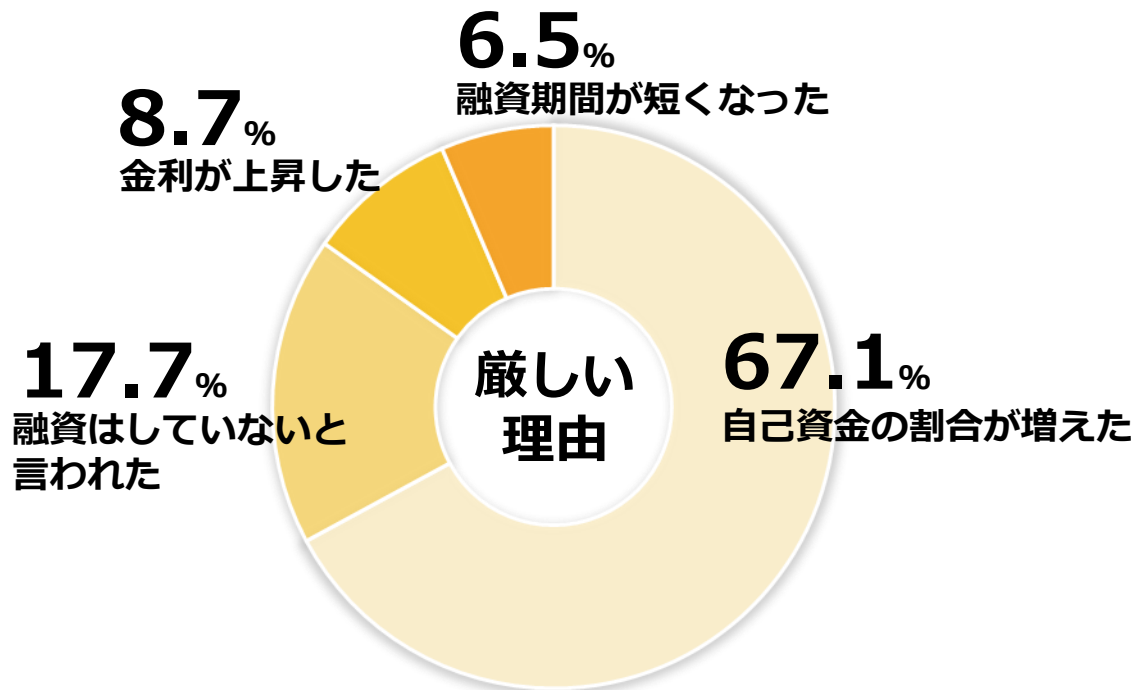
※「融資審査を受けたことがないのでわからない」と回答した分は除いて集計

「厳しくなった」と回答した方への質問

Q 厳しく変化したとは、具体的にどのようなことですか？

## 「自己資金の割合が増えた」が67.1%で今年の2倍

昨対比で約2倍の回答者数、比率も25ポイント増。



## 次いで「融資はしていないと言われた」が17.7%

次の「2018年4月以降、物件を購入しましたか？」の質問では、「融資はしていないと言われた」と回答した人のほとんどが物件を購入していない。融資環境の深刻とも言える厳しさを表している。

「自己資金の割合が増えた」と回答した人のうち、4月以降に物件を購入している人は自己資金を入れて融資を受けている人が最も多い。また、フルローンで購入している人も一定数いることから、自己資金を求められても妥協せず、共同担保や別の金融機関に打診するなどして、フルローンで融資を引き出しているとうかがい知れる。融資環境は厳しいが、条件次第でフルローンはまだ可能と言っているようだ。

### 4月以降の物件購入×融資厳しい理由

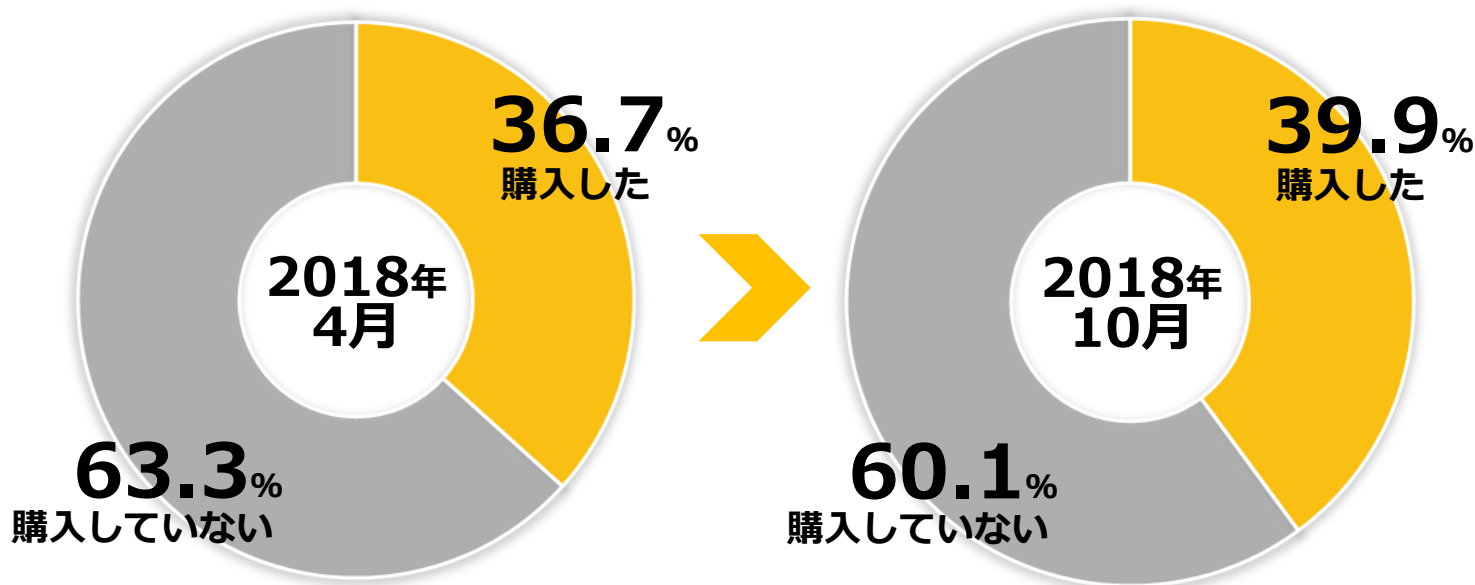
※各列のボリュームゾーン上位1位は塗りつぶし

		2018年4月以降、物件を購入しましたか？				
		融資で購入 (フルローン)	融資で購入 (1割以上の自己資金)	現金で購入	購入していない	全体
厳 し い 理 由	金利が上昇した	1.7%	3.0%	0.4%	3.5%	8.7%
	自己資金の割合が増えた	7.8%	13.4%	4.3%	41.6%	67.1%
	融資はしていないと言われた	1.7%	3.0%		13.0%	17.8%
	融資期間が短くなった	0.9%	2.6%	0.4%	2.6%	6.5%
	全体	12.1%	22.1%	5.2%	60.6%	100.0%

Q 2018年4月以降、物件を購入しましたか？

## 物件購入は今年4月期より3.2ポイント増

今年4月以降に物件を「購入した」は39.9%。「購入していない」が60.1%で、今年4月期より、3.2ポイント減少。

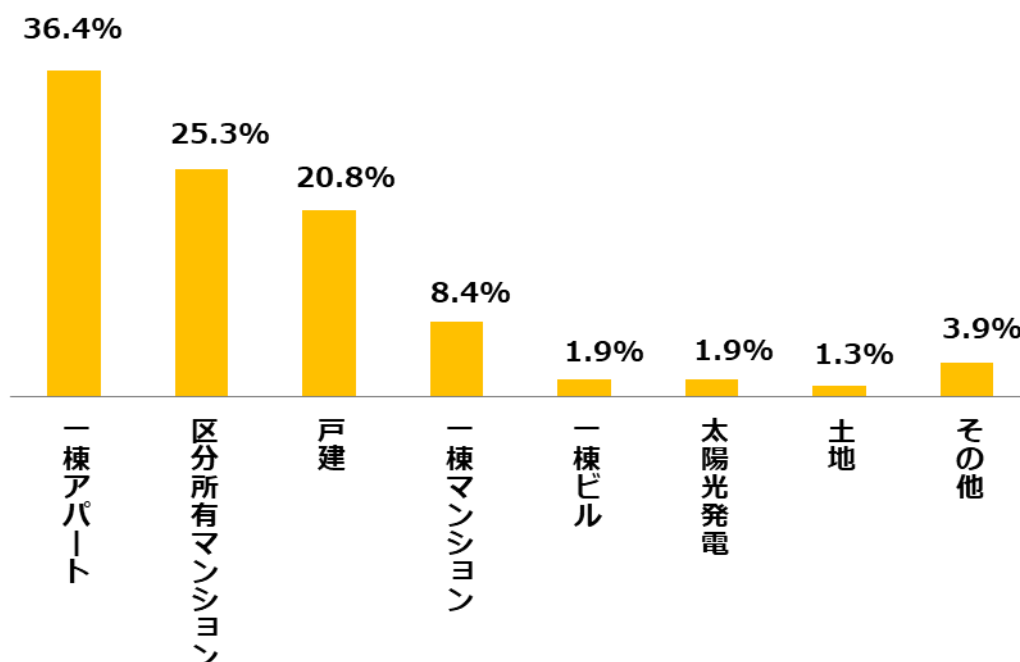


「購入した」と回答した方への質問

Q 購入した物件はなんですか？

## 36.4%の投資家が「一棟アパート」を購入

2018年4月以降に購入した物件種別については、「一棟アパート」が最も多く、次いで「区分マンション」(25.3%)、「戸建」(20.8%)となった。1年前と変わらない並び。

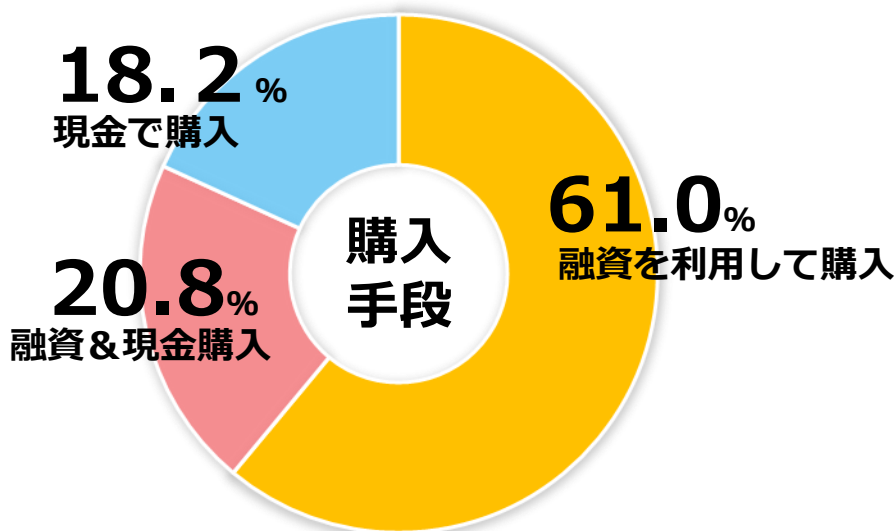


「購入した」と回答した方への質問

Q 融資を活用しましたか？

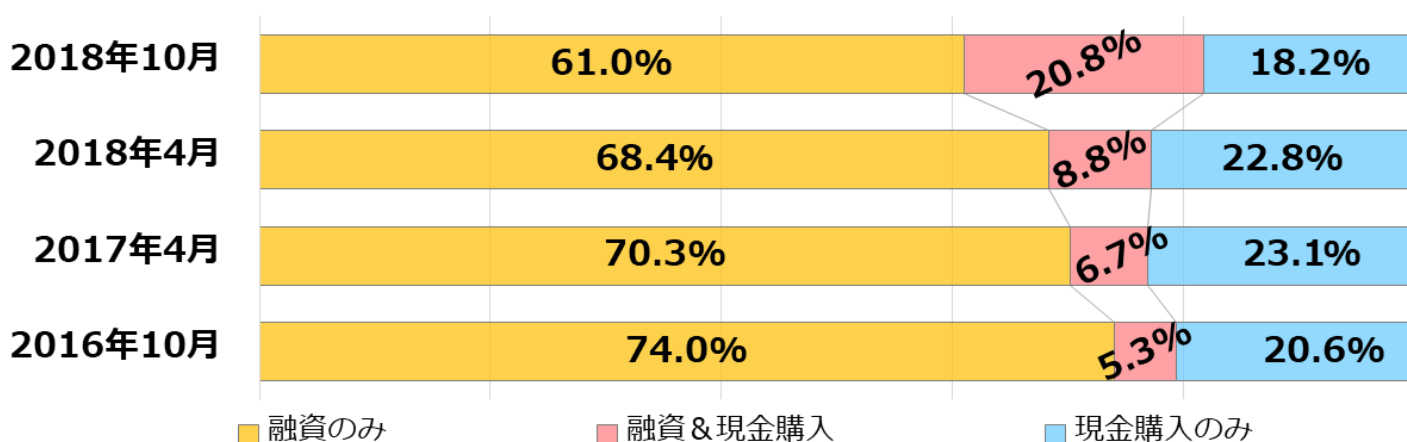
## 81.8%が融資を利用して購入

「融資のみ」利用者は61.0%、「融資&現金購入」両方の利用者は20.8%、「現金購入者」は18.2%となった。



## 「融資のみ」利用者は、今年4月期より7.4ポイント減、「融資&現金購入者」は12ポイント増

「融資のみ」の割合は相対的に減少しているものの、過半数以上となる61.0%が利用している。「融資&現金購入」は20.8%と大幅増。「融資が厳しくなった」と感じているが、依然として物件購入していることがうかがえる。

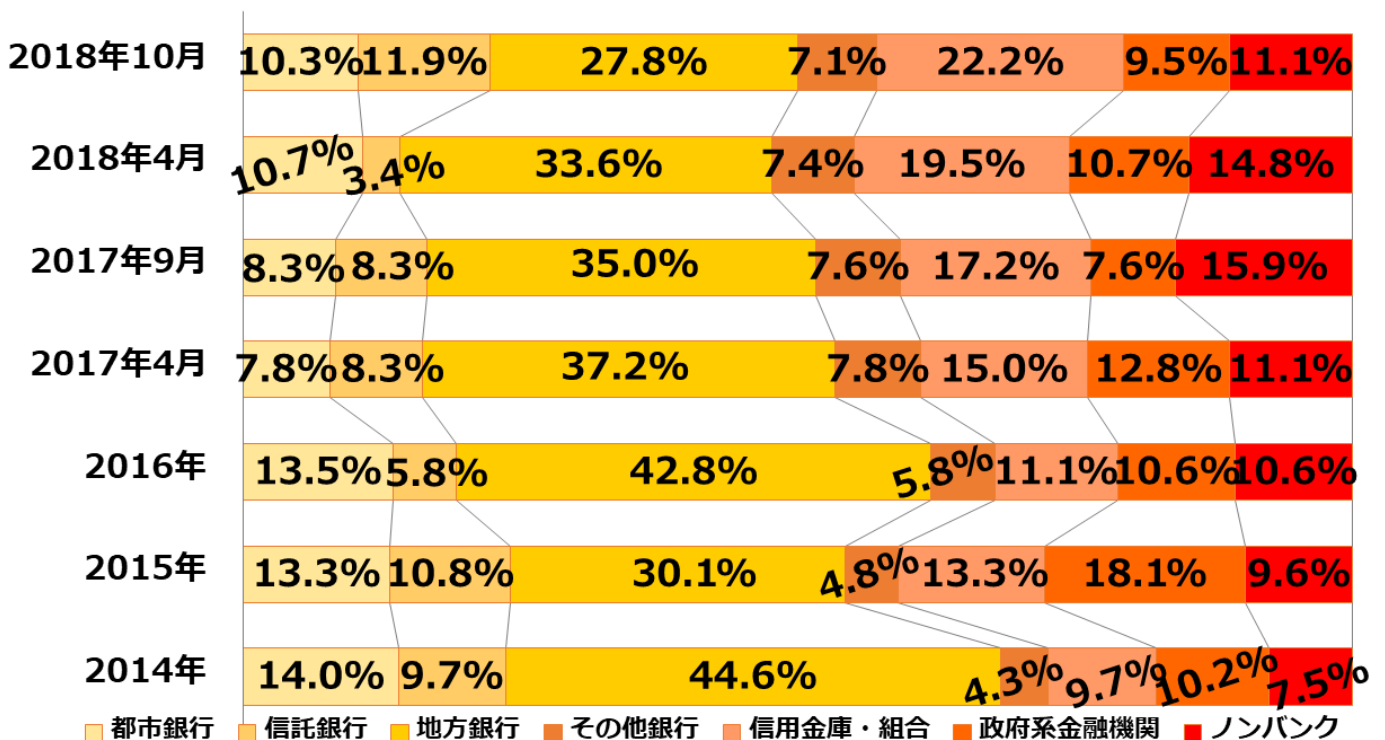
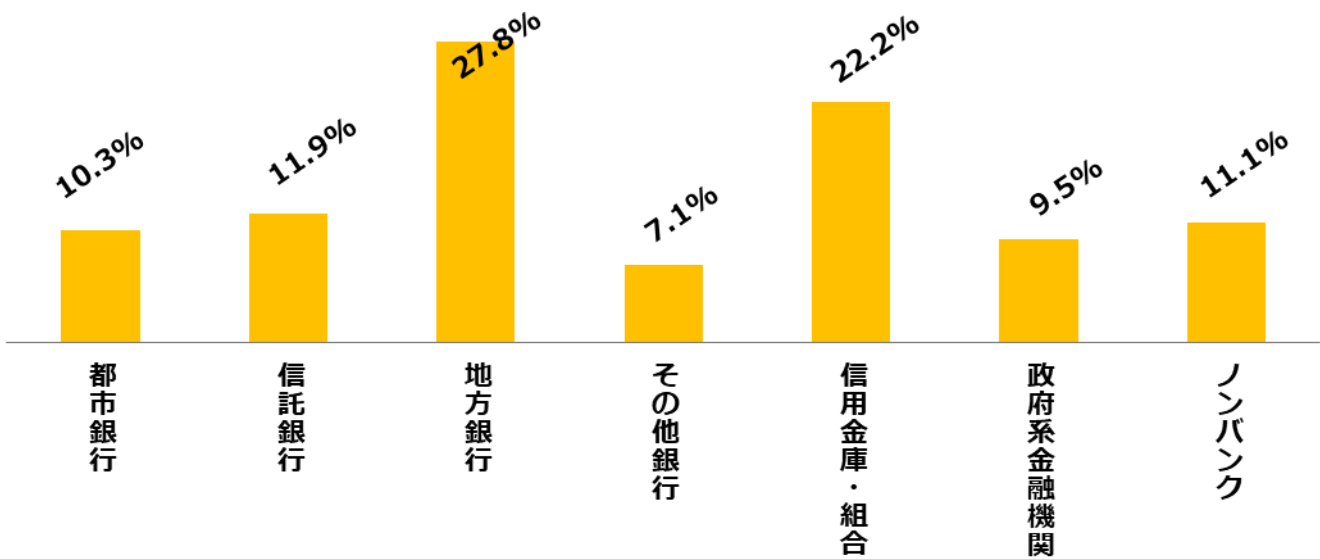


「融資を利用して購入」「融資&現金購入」と回答した方への質問

Q 融資はどの金融機関を使いましたか？

## 「信託銀行」「信用金庫・組合」がシェア拡大、「地方銀行」は減少へ

経年と変わらず、「地方銀行」(27.8%)が最も多いが、昨対比で7.2ポイント減少。今年4月期の調査結果と比較しても5.8ポイント減少。一方、「信託銀行」(11.9%)は昨対比で3.6ポイント、今年4月期より8.5ポイント増。この他、「信用金庫・組合」が昨対比で5.0ポイント増、今年4月期より2.7ポイント増とシェアを拡大している。

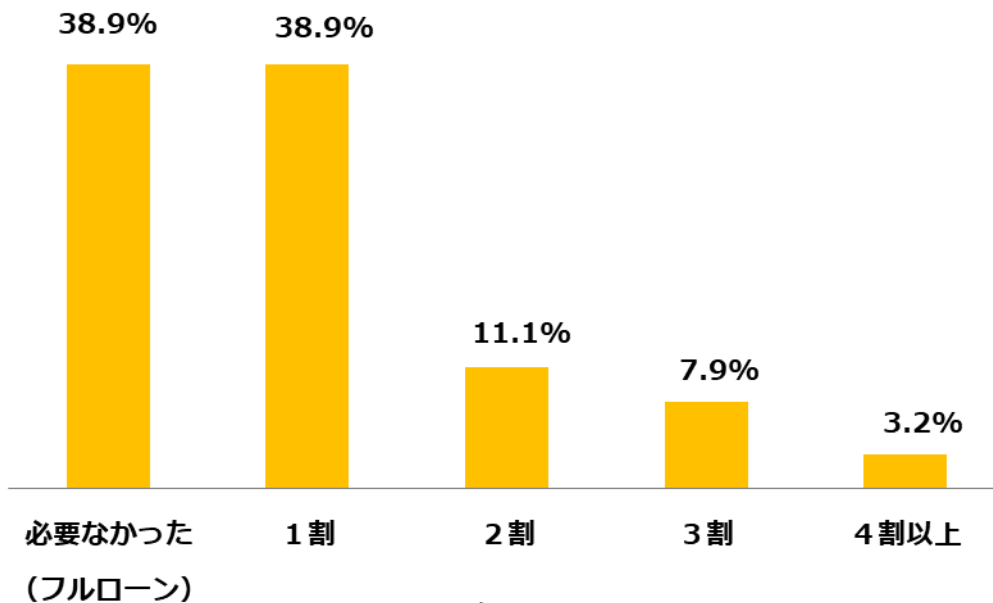


「融資を利用して購入」「融資&現金購入」と回答した方への質問

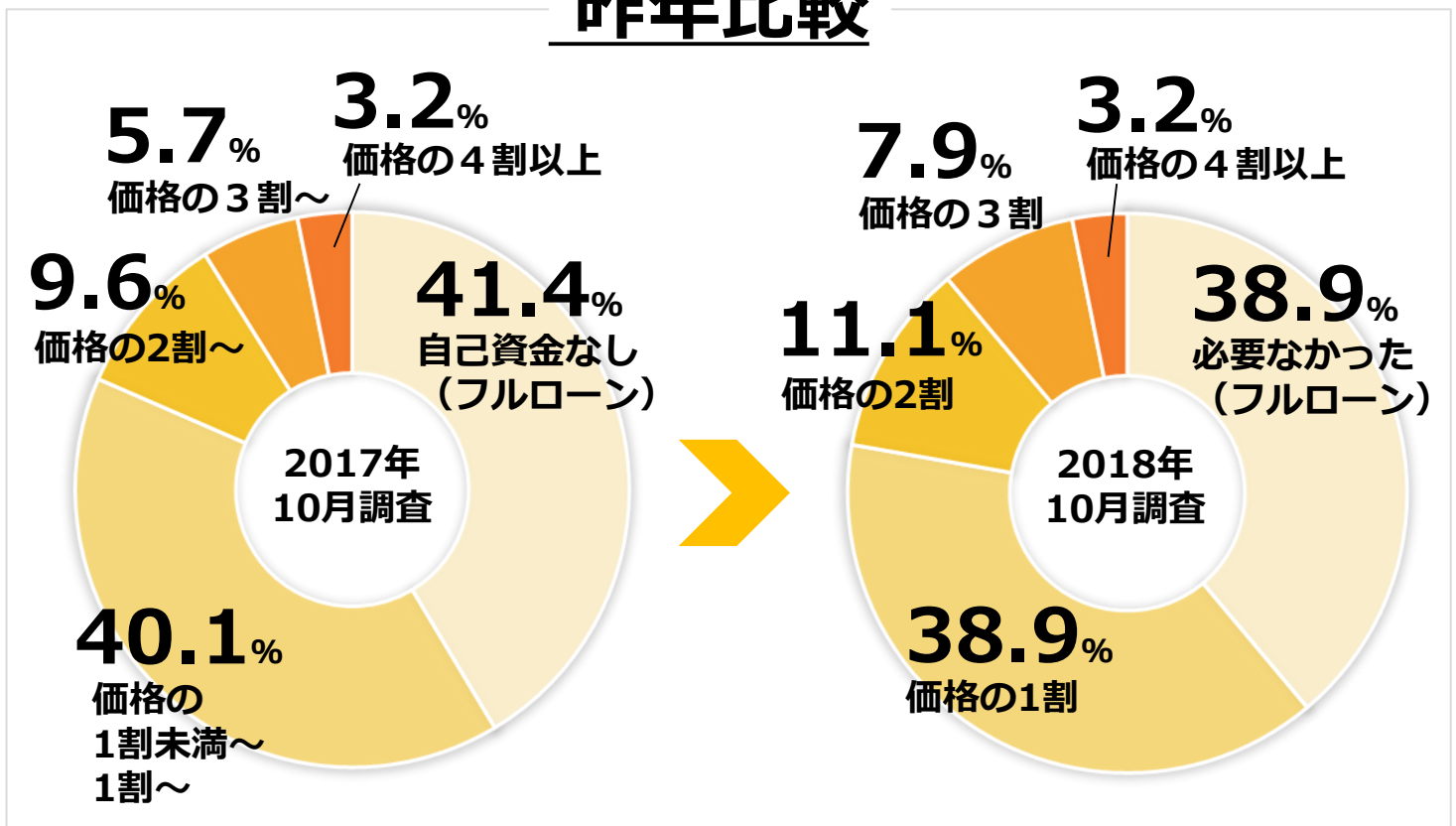
Q 自己資金はいくら必要でしたか？

## 「必要なかった（フルローン）」 「価格の1割」が同率で38.9%

自己資金を必要とした場合でも「1割」と少なく、「フルローン」と変わらない割合。次いで、自己資金は「価格の2割」（11.1%）、この並びと割合は昨対比とほぼ変わらない結果となった。先の質問で「特に変化は感じていない」人はフルローンでの購入が最も多かった。また、「厳しくなった」人も金融機関との取引実績がある、自己資金を求められても妥協せず、共同担保や別の金融機関に打診するなどして融資を引き出している。条件次第では「フルローン」「自己資金1割」は高いハードルではないのかも知れない。



### 昨年比較





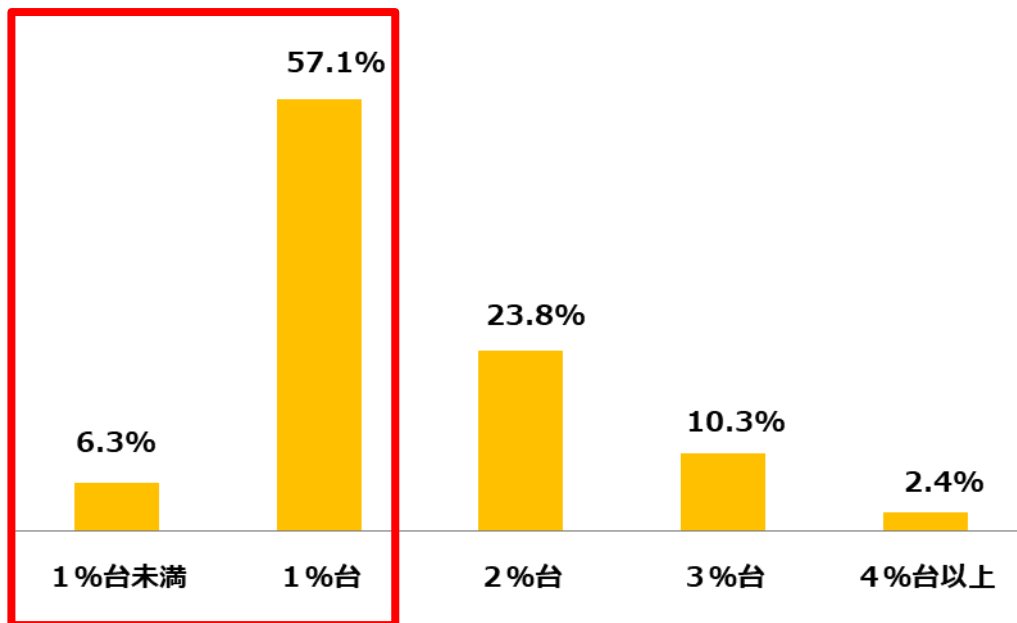
「融資を利用して購入」「融資&現金購入」と回答した方への質問

Q 金利は何パーセント台でしたか？

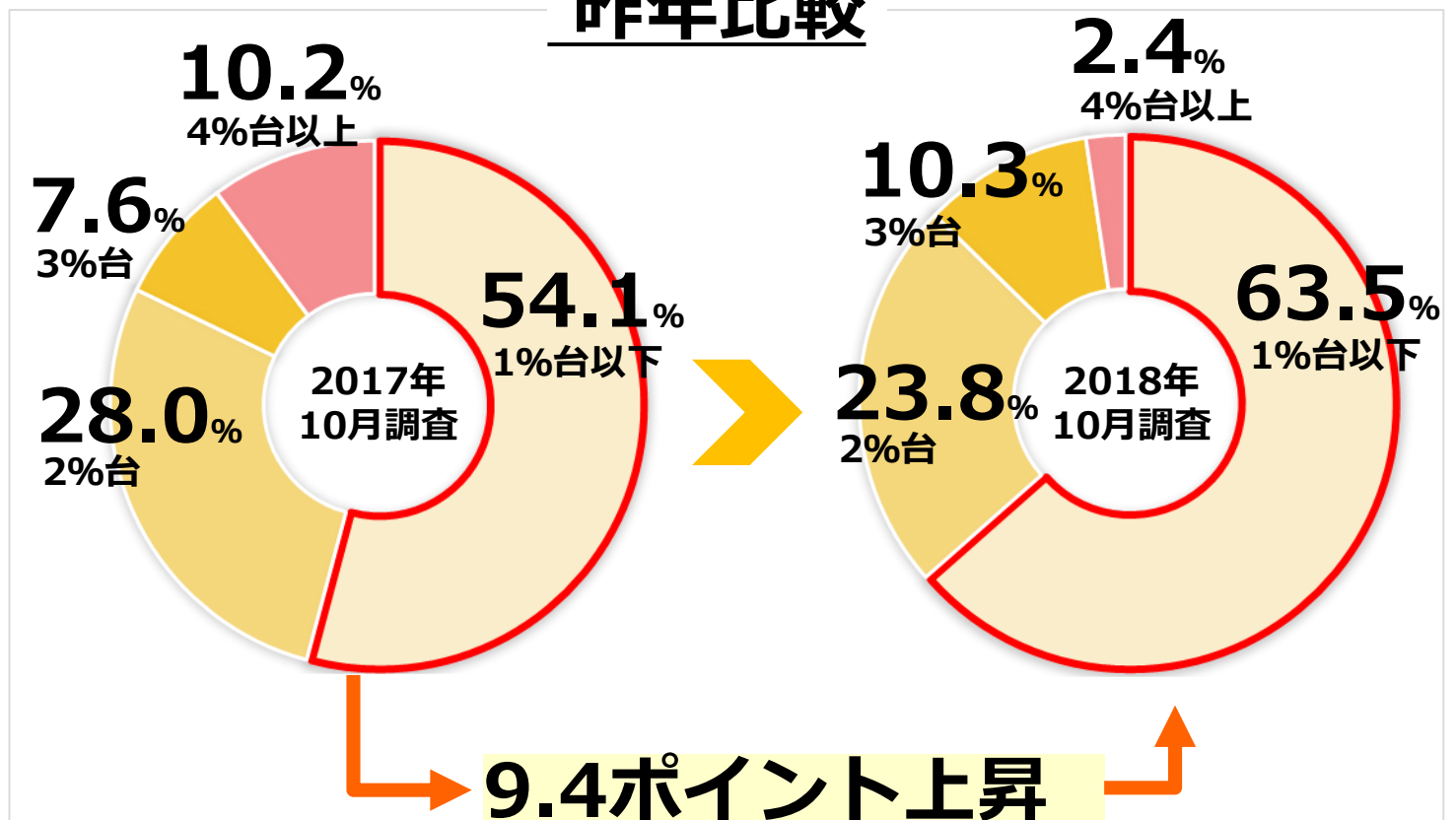
## 「1%台以下」が63.5%と最も多く、昨対比で9.4ポイント増

「1%台未満」「1%台」合わせて63.5%と依然として低金利が継続していることがうかがえる。昨対比で9.4ポイント増は投資環境としては好条件。

**63.5%**  
1%台以下



### 昨年比較

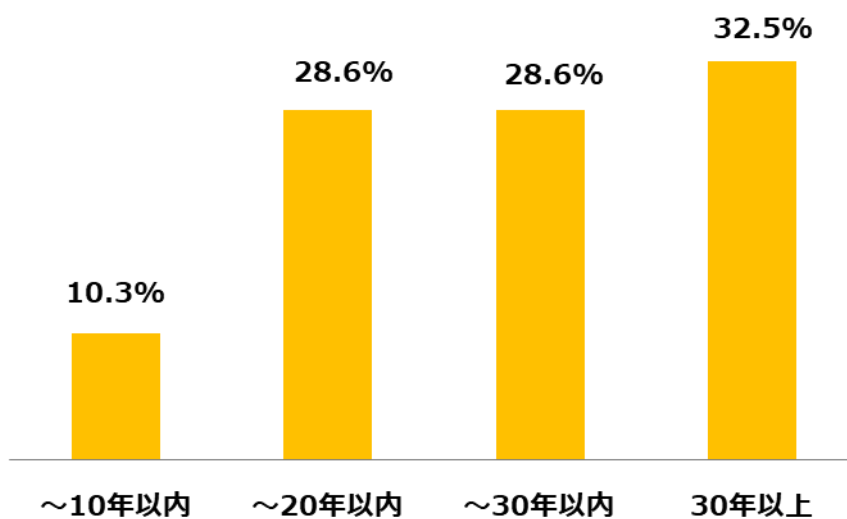


「融資を利用して購入」「融資&現金購入」と回答した方への質問

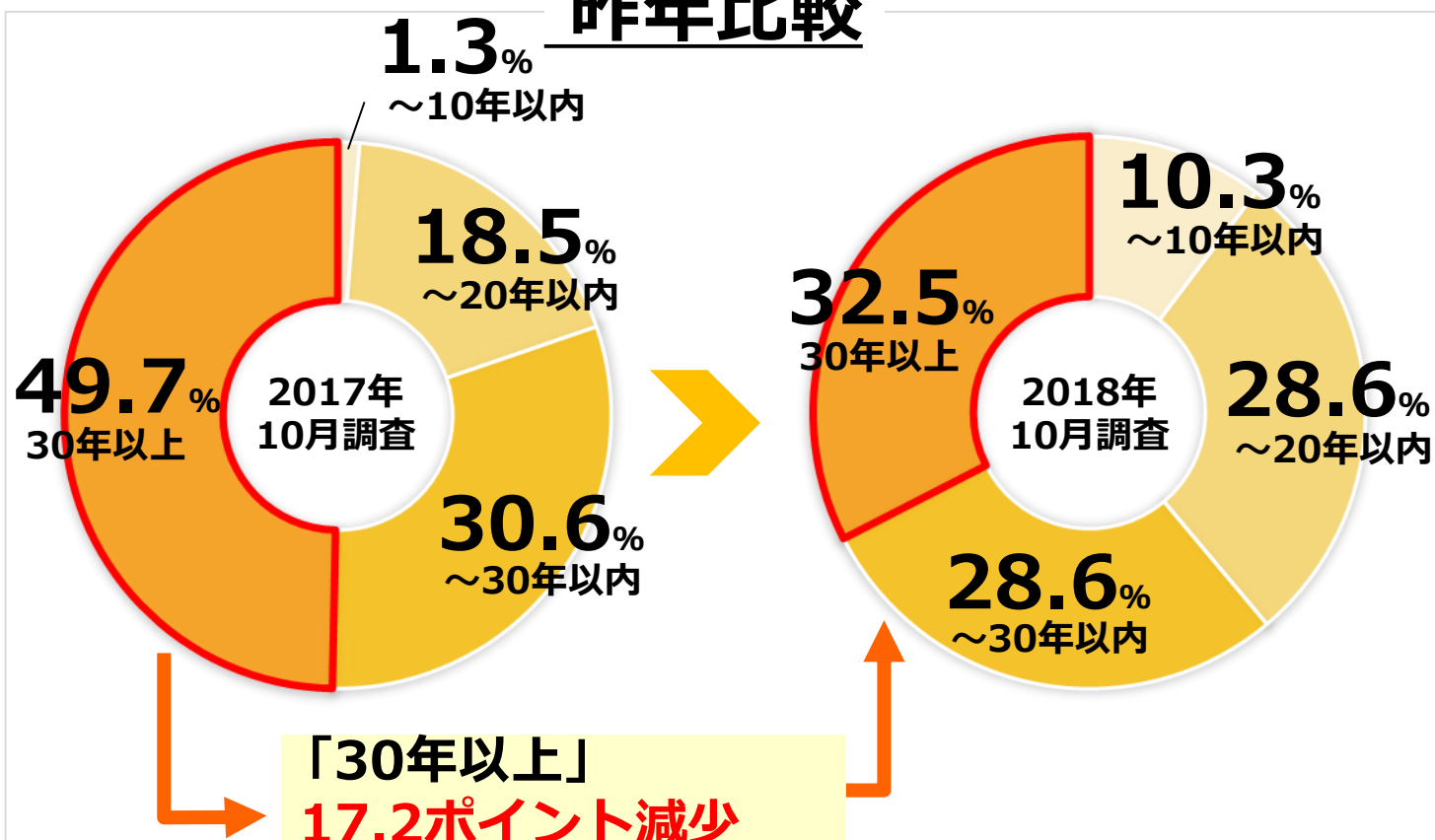
Q 融資の期間はどのくらいですか？

## 32.5%が「30年以上」と回答、昨年より17.2ポイント減少

昨年同月期は「30年～」(49.7%)だった。一方、「～20年以内」(28.6%)は、昨年同月期より10.1ポイント増、「～30年以内」(28.6%)は2.0ポイント減となった。傾向として金利は下がったが融資期間は短くなったと言える。



### 昨年比較

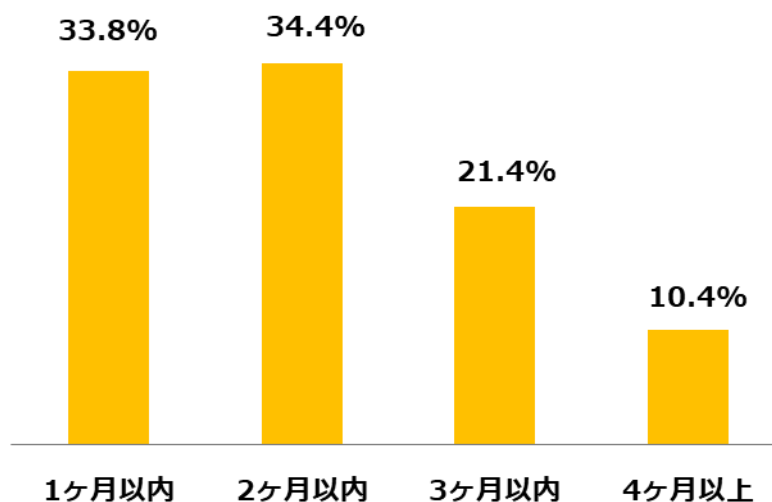


「2018年4月以降に物件を購入した」と回答した方への質問

Q 問い合わせから購入するまでの期間はどのくらいでしたか？

**「2ヶ月以内」が34.4%で最多、次いで「1ヶ月以内」が33.8%**

「1ヶ月以内」と合わせて、約7割が「2ヶ月以内」に問い合わせから購入まで至っている。この他、「3ヶ月以内」（21.4%）、「4ヶ月以上」（10.4%）も一定数いることが分かる。



「2018年4月以降に物件を購入した」と回答した方への任意の質問

Q 購入までに苦労したことがあればどんなことが教えてください

**「融資に時間が掛かった」「自己負担額をできるだけ多く求められた」など、融資に関する回答が多数**

この他、「融資通過のために多数の資料を追加準備した」「融資の審査期間が長かった」「融資審査の期間が短く設定されたため、急いで行動する事を求められた」「なかなか融資が通らず頭金を増額した」といった回答が見られた。さらに、「法人で購入したかったが、実績が不十分のため、個人購入になった」「法人での融資を希望していたが、個人でしか融資が下りなかった」という回答も見られた。

# 1 金融機関の融資について

## 金融機関のマトリックス表

※各金利・各列のボリュームゾーン上位1位は塗りつぶし  
 ※「現金で購入」と回答した人は除いて集計

### 金利×融資期間

		金利					全体
		1%台 未満	1%台	2%台	3%台	4%台 以上	
融資 期 間	～10年以内	0.8%	9.5%				10.3%
	～20年以内	1.6%	15.9%	8.7%	2.4%	0.0%	28.6%
	～30年以内	2.4%	14.3%	6.4%	4.0%	1.6%	28.6%
	30年以上	1.6%	17.5%	8.7%	4.0%	0.8%	32.5%
	全体	6.4%	57.1%	23.8%	10.3%	2.4%	100.0%

### 金利×金融機関

		金利					全体
		1%台 未満	1%台	2%台	3%台	4%台 以上	
金 融 機 関	地方銀行	2.4%	18.3%	4.0%	2.4%	0.8%	27.8%
	都市銀行	0.8%	8.7%	0.8%			10.3%
	政府系金融機関	0.8%	8.7%				9.5%
	信託銀行		4.0%	4.8%	3.2%		11.9%
	ノンバンク		2.4%	4.0%	4.0%	0.8%	11.1%
	信用金庫	1.6%	9.5%	7.1%	0.8%	0.8%	19.8%
	信用組合		0.8%	1.6%			2.4%
	その他の銀行	0.8%	4.8%	1.6%			7.1%
	全体	6.4%	57.1%	23.8%	10.3%	2.4%	100.0%

### 融資期間×金融機関

		融資期間				全体
		～10年 以内	～20年 以内	～30年 以内	30年 以上	
金 融 機 関	地方銀行	4.8%	7.1%	7.9%	7.9%	27.8%
	都市銀行		3.2%	2.4%	4.8%	10.3%
	政府系金融機関	5.6%	2.4%	0.8%	0.8%	9.5%
	信託銀行		0.8%	1.6%	9.5%	11.9%
	ノンバンク		0.8%	7.1%	3.2%	11.1%
	信用金庫		11.9%	4.8%	3.2%	19.8%
	信用組合		1.6%		0.8%	2.4%
	その他の銀行		0.8%	4.0%	2.4%	7.1%
	全体	10.3%	28.6%	28.6%	32.5%	100.0%

## 金融機関のマトリックス表

※各金利・各列のボリュームゾーン上位1位は塗りつぶし  
 ※「現金で購入」と回答した人は除いて集計

### 金利×自己資金

		金利					全体
		1%台 未満	1%台	2%台	3%台	4%台 以上	
自己 資金	必要なかった	2.4%	21.4%	11.1%	3.2%	0.8%	38.9%
	1割	0.8%	25.4%	7.1%	4.8%	0.8%	38.9%
	2割	2.4%	4.8%	3.2%	0.8%		11.1%
	3割	0.8%	4.0%	0.8%	1.6%	0.8%	7.9%
	4割以上		1.6%	1.6%			3.2%
	全体	6.4%	57.1%	23.8%	10.3%	2.4%	100.0%

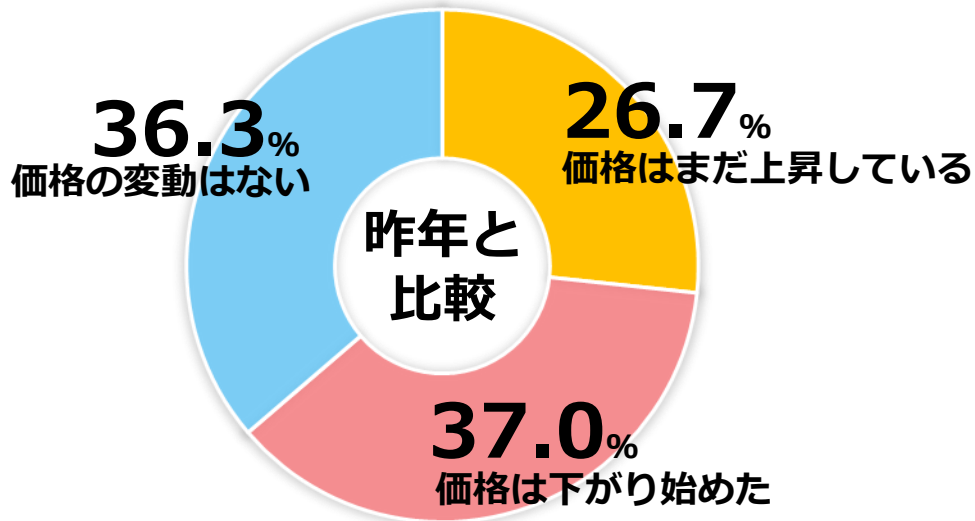
### 融資期間×自己資金

		融資期間				全体
		~10年 以内	~20年 以内	~30年 以内	30年 以上	
自己 資金	必要なかった	4.0%	11.9%	8.7%	14.3%	38.9%
	1割	3.2%	7.9%	11.1%	16.7%	38.9%
	2割	1.6%	4.0%	4.8%	0.8%	11.1%
	3割	1.6%	2.4%	4.0%		7.9%
	4割以上		2.4%		0.8%	3.2%
	全体	10.3%	28.6%	28.6%	32.5%	100.0%

Q 現在の収益物件価格について、1年前と比べるとどう思いますか？

### 37.0%が「価格は下がり始めた」と回答

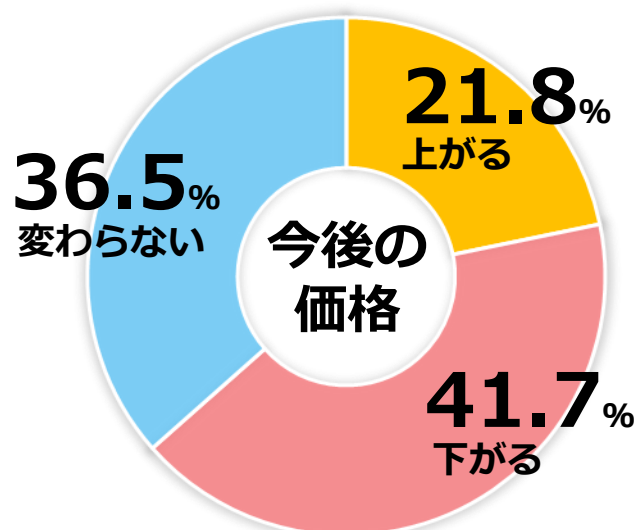
次いで、「価格の変動はない」（36.3%）、「価格はまだ上昇している」（26.7%）という回答となった。「価格は下がり始めた」「価格の変動はない」がほぼ同率だが、一方で「価格はまだ上昇している」と感じている層が一定数いる。



Q 東京オリンピック開催まで2年を切りましたが、物件価格はどのようになると思いますか？

### 41.7%が「下がる」と予測、「上がる」の2倍

「変わらない」（36.5%）、「上がる」（21.8%）となった。いずれも一定数の回答があることから、それぞれに予測が分かれる状況。



## 2 収益物件の価格について

東京オリンピック開催まで物件価格が「上がる」と回答した方への質問

Q どうしてそう思いますか

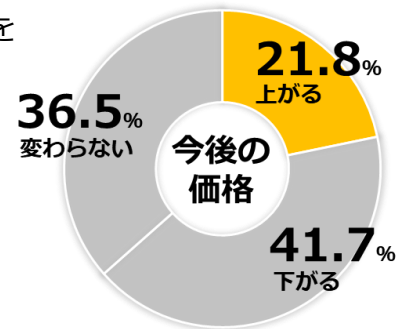
### 「都市部や東京の物件は上がる」と回答

「上がる」と回答した人の理由で多く見られたのは、都市部や東京といった限定したエリアに関するコメント。

「オリンピック関連で土地の確保などの需要が増えるから」「オリンピックムードで強気の価格設定になっている」「オリンピックに向けて上昇しているから」「オリンピックに向けて不動産投資する人が増えるから」「オリンピックまでは投資が継続すると思うため」などオリンピックを契機にとらえている回答が多い。

また、「東京は人気都市だから、人口数は減らないと思う」「東京はインバウンド的な根拠からまだ上がると思う」「都内の物件に関しては五輪以降も開発計画もあり価値は上がると思います」「都心回帰が進む」「都市部の駅近物件のみ上がる」「東京不動産はグローバルで見るとまだ安い」といった東京に限定した価格上昇と捉えた回答も見られた。

東京オリンピックの開催と、近年の外国人観光客の増加から、「外国人観光客が多い」「外国人観光客が激増している、東京の転入者も増えている」「外国人の購買需要・意欲がまだまだ衰えない」といった、海外の不動産投資家ニーズの高さを指摘する回答も見受けられた。



東京オリンピック開催まで物件価格が「下がる」と回答した方への質問

Q どうしてそう思いますか

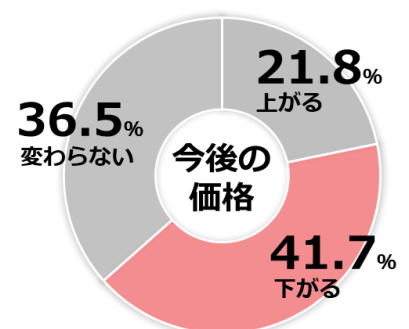
### 「オリンピックというより融資の引き締め」といった「融資引き締め」の理由が多数

この他、「スルガショックによる融資の引き締め」「融資状況が変わったから」と、スルガ問題が発端となった、昨今の金融庁による融資状況の変化を上げる人も多くいた。

その影響から、「二極化が進み、都心の物件は変わらないか更なる上昇もあり、一方、地方の物件は下がっていく」「地方の物件は元々オリンピックの影響は受けていないため、価格そのものに変化は無いが、融資が厳しくなっている分、下がると思う」という回答も見られた。

現状を冷静に見ている回答も見受けられる。

「昨今の金融機関の行き過ぎた不動産への融資が是正されるため」「現在の価格が適正価格でないので適正価格よりちょっと高いところまで下がると思う」という声も存在する。



## 2 収益物件の価格について

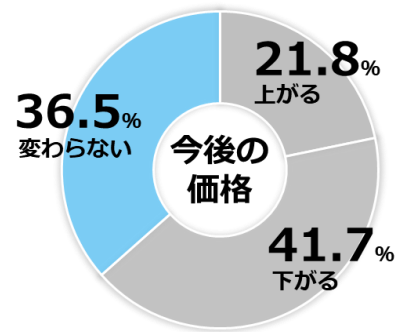
東京オリンピック開催まで物件価格が「変わらない」と回答した方への質問

Q どうしてそう思いますか

**「オリンピック開催はそれほど影響しない」「投資需要に変化がないから」など、オリンピック以外の影響から、収益物件の価格は「変わらない」と回答**

この他、「メディア等で騒がれているほど、オリンピックの影響はないと考える」「オリンピック需要と思われるニーズで価格が上昇しているようには思えない」「オリンピックは一要因でしかなく、経済景気全体に大きな持続的な影響を及ぼすまでには至らない」「オリンピックの開催は不動産にはそれ程影響しない」と回答。

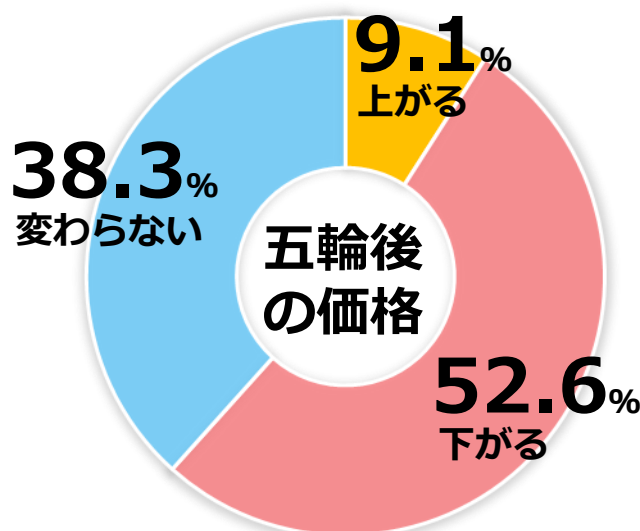
近年のサラリーマン投資家の増加や、不動産投資熱に関する回答も見受けられた。「需要があるから」「需給バランスがあるから」「物件の場所によっては下がるだろうが、基本欲しい人は減らないので」「サラリーマン投資家が増えている気がするから」「不動産投資家の数は減らないので、物件に対する需要も減少しないと思うから」「融資が渋くなり下がる圧力はあるが、新規参入の大家見習いの流入が止まらないから」「投資経験者の投資意欲は依然として旺盛であると思うから」と回答。



Q 東京オリンピック以降の物件価格はどのようになるとお考えですか？

**52.6%が「下がる」と回答。過半数が価格下落を予測**

次いで、「変わらない」（38.3%）。「上がる」と回答したのは9.1%となった。





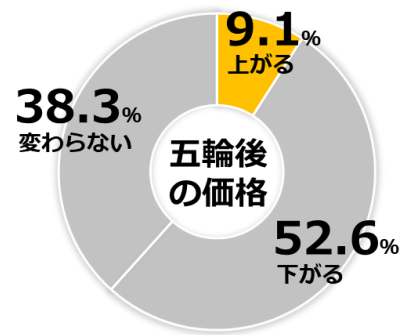
## 2 収益物件の価格について

東京オリンピック以降の物件価格が「上がる」と回答した方への質問

Q どうしてそう思いますか

### 「収益物件の価格上昇はオリンピックと直接関係ないと思うから」という意見多数

価格が上昇する理由として挙げられたコメント。「現在の上昇要因は人件費、資材の高騰が挙げられるが、それはオリンピックとは直接関係が無いと思うから」「物件の立地がよければインバウンドの影響で価格は上がり続ける」「海外から買われているから」「オリンピック景気も来年には底打ちで消費税も10%になりそうだということで、日本景気も頭打ちで日銀の利上げが出来ない（融資も引き続き低金利で来ると思う、ただ新築物件は人口減とファミリータイプマンションは飽和状態で失速、その代わりに現在空き家（マンション・戸建て共）のリフォームによる築古の不動産投資が必要が出てきそうだから」という回答。



東京オリンピック以降の物件価格が「下がる」と回答した方への質問

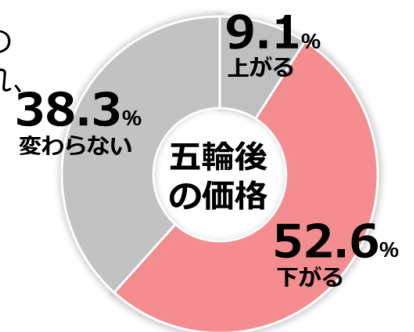
Q どうしてそう思いますか

### 理由は次の3意見が多数、「金融機関による融資の引き締めが続く」「消費税増税の影響で景気が冷え込む」「人口減少により需給のバランスが崩れて需要減となる」

融資の引き締めによる影響から「価格は下がる」と回答した人の理由。「融資傾向に変化が無ければ、買えない人が増え結果的に物件価格は下がると思う」「物件需要、建設費の低下及び消費税増税による景気の低迷を予想しています」「不動産投資の減速と景気低迷による買い控えが予想されるため」「大規模な金融緩和が発生しなければ、基本的に需要は減退する」「銀行の融資の門戸が締められ始めたのを肌で感じます。結果、融資付けに苦労する、価格は下がる」など。

消費税増税の影響から「価格は下がる」と回答した人の理由。「消費税の影響と建て替え需要の縮小、「オリンピックも終わり、消費税も増税され、融資も閉まってきているので、全体的に徐々に下がっていく。ただし急激に下がることはないと思われる」など。

人口減少により需要減となるから「価格は下がる」と回答した人の理由。「人口減少により地方の需要が下がっていくため、全体で見ると低下傾向になると思われる」「人口減少と融資の引き締め」「人口減少と消費税の値上げのため」「人口減少と供給過多による」など。



## 2 収益物件の価格について

東京オリンピック以降の物件価格が「変わらない」と回答した方への質問

Q どうしてそう思いますか

### 「特にオリンピックの影響があると考えていない」という意見多数

多数の意見のコメント。「需要があるから」「融資の締め付けによってオリンピックまでに価格は下がるが、以降は外国人の需要が多少増え、トータルでは物件価格に変化はない」「欲しい物件の価格は変わらず、と考えるから」「投資需要に変化がないから」「都市部はこのまま推移、地方は下がると思われる」「東京オリンピックを機会に日本の価値、日本の良さを外国人も感じると思うから（外国人投資家が増える）」「東京オリンピック以降は建築物件は減ると思うが人手不足の為価格は変わらないと思うから」「場所によっては大きな変動があるかもしれませんが、金利動向や経済状況の方が影響が大きいと思うので、オリンピックが原因となる価格動向は限定的だと考えています」。

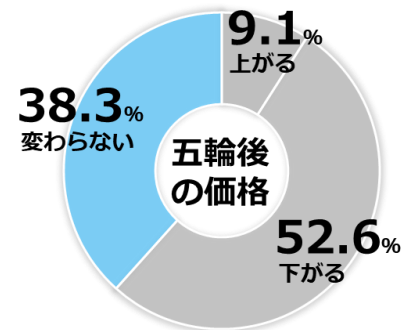
「オリンピック後に経済状況が大きく変わった事例はないので」

「オリンピック以降にも東京に関しては、大開発やインフラ整備が続くので、不動産価格はそんなに変わらない。他の経済政治要因

（海外との関わり）によって下落する可能性は十分に考えられる」

「相続税対策で大量に建てられた築20年前後の物件が価格を下げて売りに出るとは思いますが、消費税が10%になり、若干、物件価格も

上がるためトータルでは大きく変化はないと考えます」「若干の下げはあるかもしれないが、適切な価格に落ちつく」「景気対策が出てくる事で実需が大きくなるため」「観光需要の増加と人口減少の影響が相殺され、大きくは変わらないと想定している」「都圏の不動産需要はますます旺盛になると思います」「リニアモーターカーと港区の新駅の影響のため」などの回答。



### 「大地震、移民増加など、外的要因に左右される」という意見も

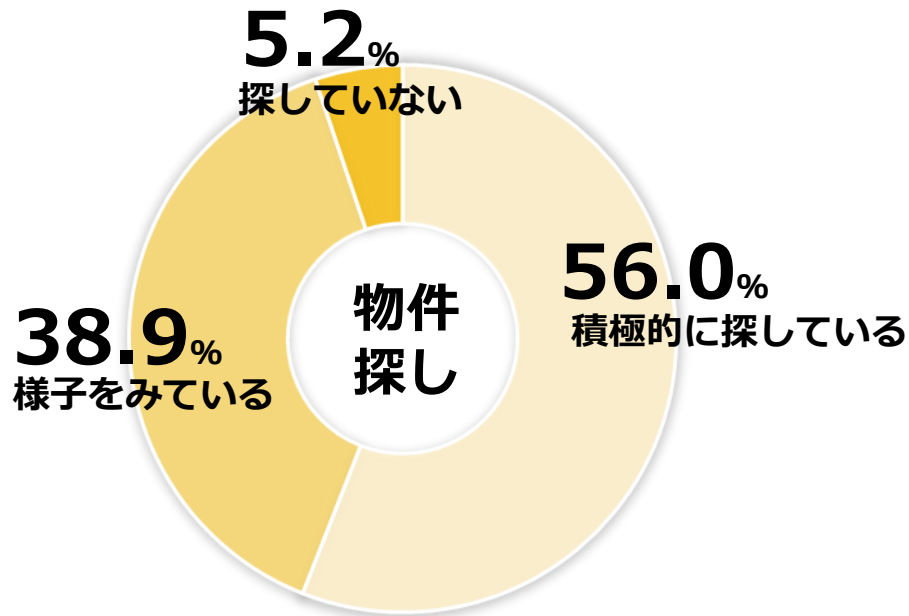
この他、「移民増加」「外国人投資家による一定の需要」「今後も引き続き日本への観光客及び就労ビザでの外国人労働者の増加」という意見も見受けられた。

### 3 2018年4月以降の物件購入について 健美家.

Q 物件探しをしていますか？

## 56.0%が「積極的に探している」と回答、投資意欲の衰え見えず

「積極的に探している」は「様子を見ている」（38.9%）の約1.4倍に上る。融資環境の厳しさを感じながら、「探していない」はわずか5.2%に留まり、購入意欲のある人は変わらずに収益物件を探している実態が見える。



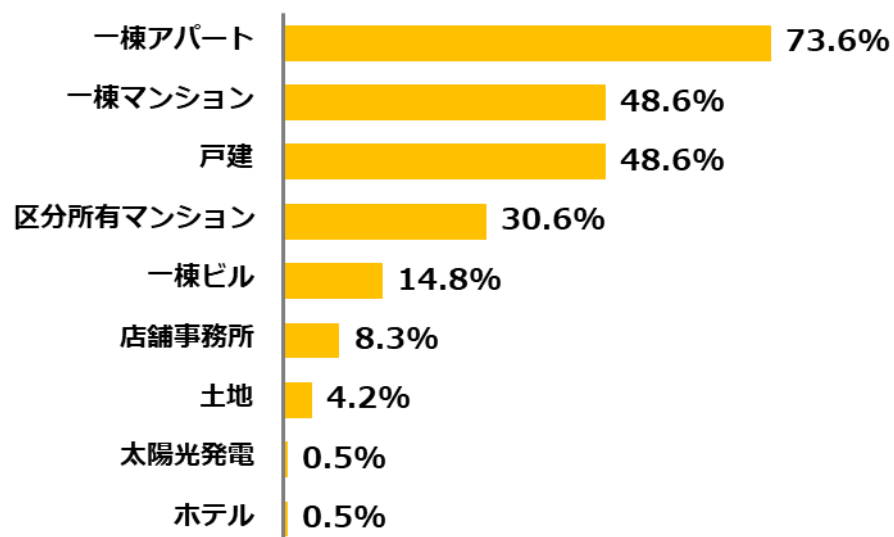
「積極的に探している」と回答した方への質問

(複数回答可)

Q それはどんな種別の物件ですか？

## 「一棟アパート」が73.6%と多数、「一棟マンション」「戸建て」も48.6%の割合

多くは前述の物件種別3種となった。「区分所有マンション」も30.6%と変わらずの並び。



### 3 2018年4月以降の物件購入について 健美家.

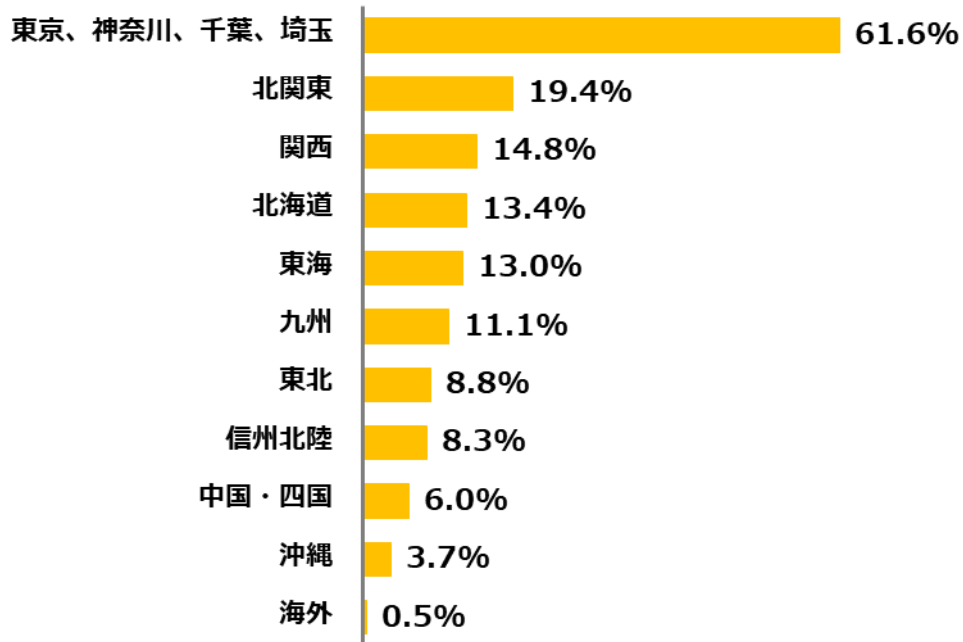
「積極的に探している」と回答した方への質問

(複数回答可)

Q 探している物件はどこの地域ですか？

## 「東京、神奈川、千葉、埼玉」の1都3県が61.6% で、次ぐ「北関東」（19.4%）と大差

1都3県が圧倒的な物件購入の対象エリア。一方で、地方エリアも一定層から支持されていることがうかがえる。「北海道」が「東海」より0.4ポイント高い。

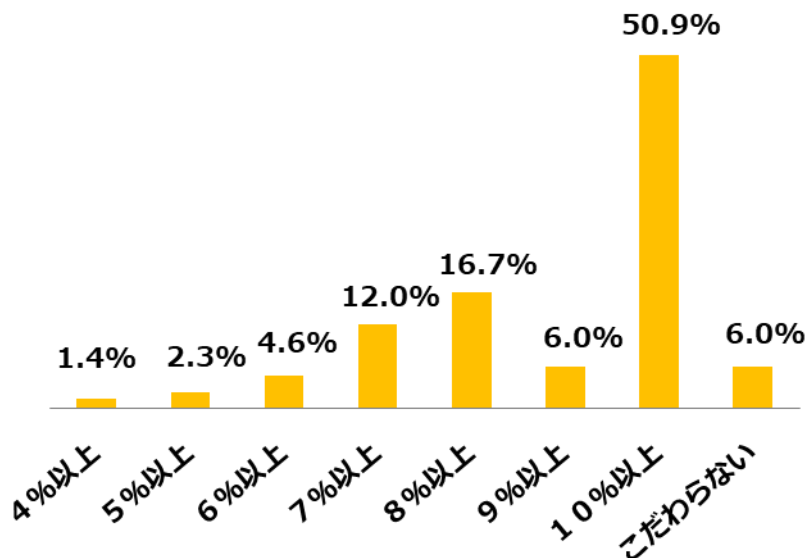


「積極的に探している」と回答した方への質問

Q 探している物件の利回りは何パーセント以上ですか？

## 50.9%の投資家が利回り「10%以上」と回答、 「8%以上」も含めると73.6%

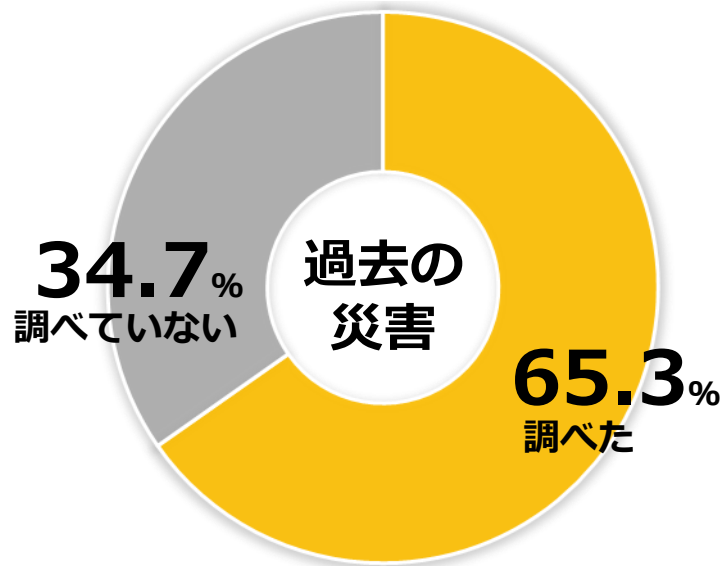
「8%以上」（16.7%）は、「9%以上」（6.0%）より10.7ポイント多い。利回りに対する不動産投資家のしきい値が「8%」というバーが存在すると見られる。



Q 今まで物件の購入前に  
周辺の地盤や過去の災害について調べましたか？

### 65.3%が「調べた」と回答

「調べていない」が34.7%と一定数存在する結果となった。



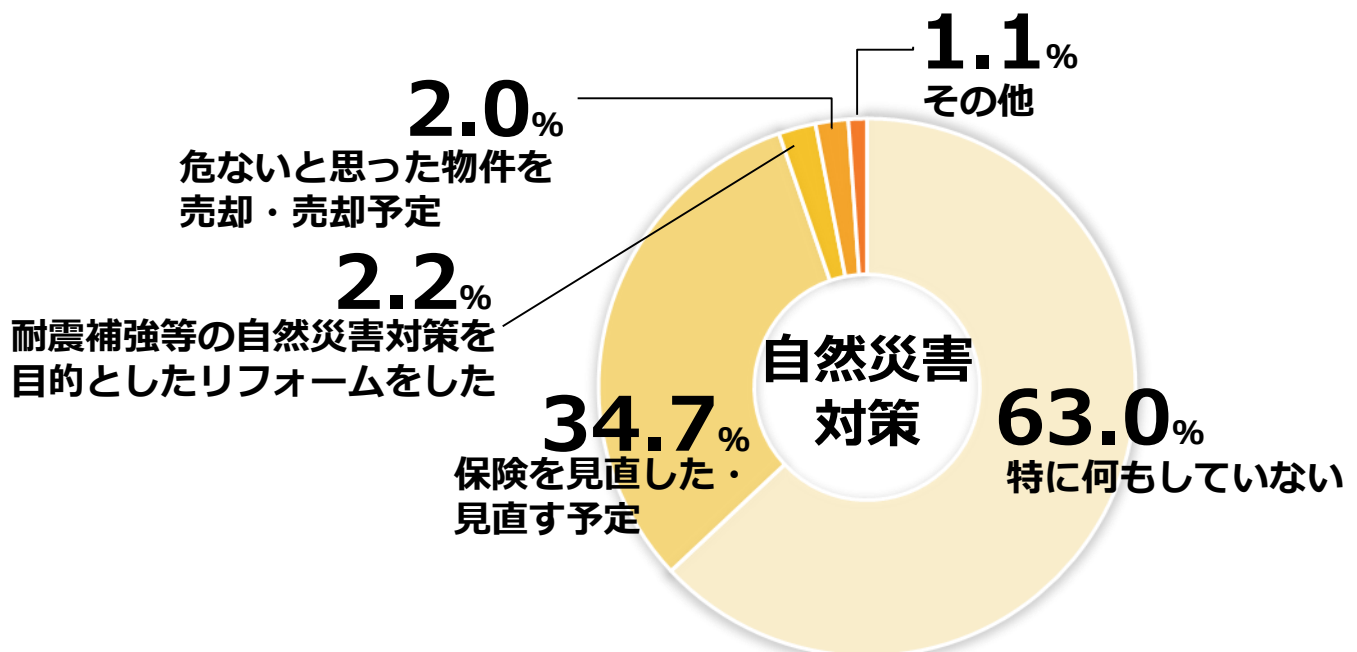
※「物件を保有していない」と回答した分は除いて集計

「物件を保有している」方への質問

Q 最近の自然災害の多発を受けて、  
保有物件の自然災害対策をしましたか？

### 63.0%が「特に何もしていない」と回答

「特に何もしていない」の中には、すでに「保険に加入している」「地震保険を含めてフルカバーで加入している」と多数が回答。



「物件を保有している」と回答した方への質問

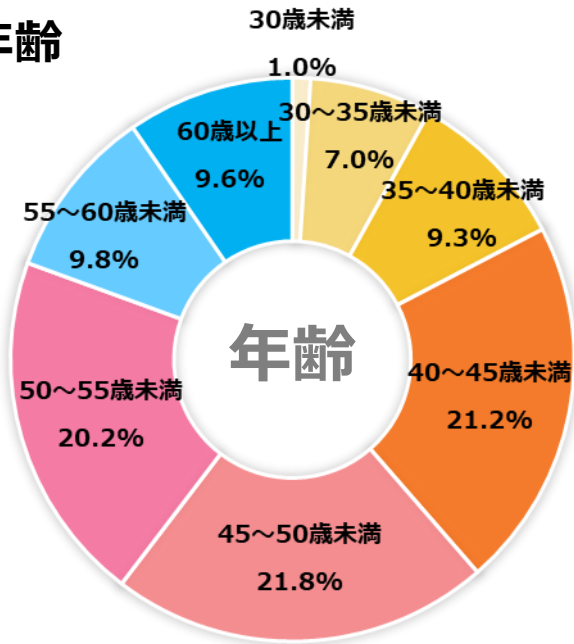
Q 地震や台風などの災害に対して、物件に何か備えていますか？

### 「特に何もしていない」と回答した詳細内容

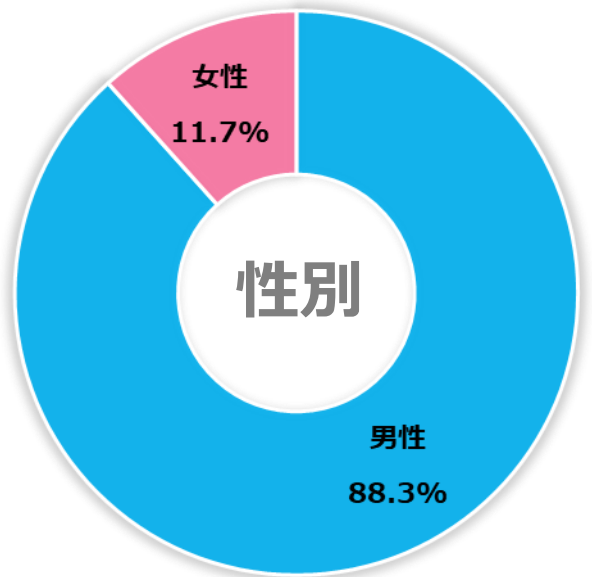
「ハザードマップで安定しているところの物件を買っている」「物件を購入する地域を1箇所に集中させないようにしている」「台風シャッターを装備している」「水とガスの確保」「新築時に耐震を徹底して意識して建てる、棟上げ時に必ず現場をチェックする」「自然災害危険性の少ない物件を選ぶ」「購入時にハザードマップを確認、地名、周辺環境は確認している。火災・地震保険は購入時から掛けている」「購入して2ヶ月で台風による屋根被害を受けた。来年からは保険の見直しを行う」「現在、管理会社に相談中」「管理会社に頻繁に連絡をとる程度」「管理会社に任せている」「屋根を葺き替えた」「マンションなので、マンション組合がしてくれている」「ハザードマップの確認と保険内容を再確認しました」「ハザードマップによる調査を必須としている」「そういう物件ははじめから買わない」など。

この他、「災害対策を検討中」「これから考える」と、何かしら検討する様子もうかがえる。

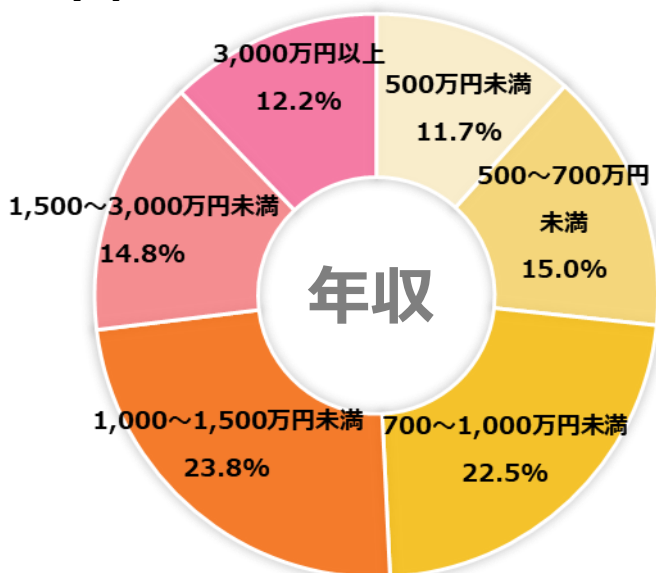
## ■ 年齢



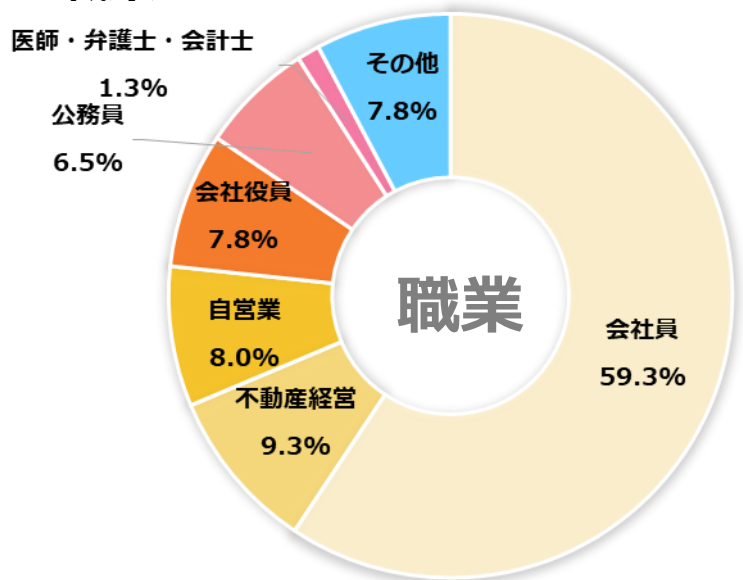
## ■ 性別



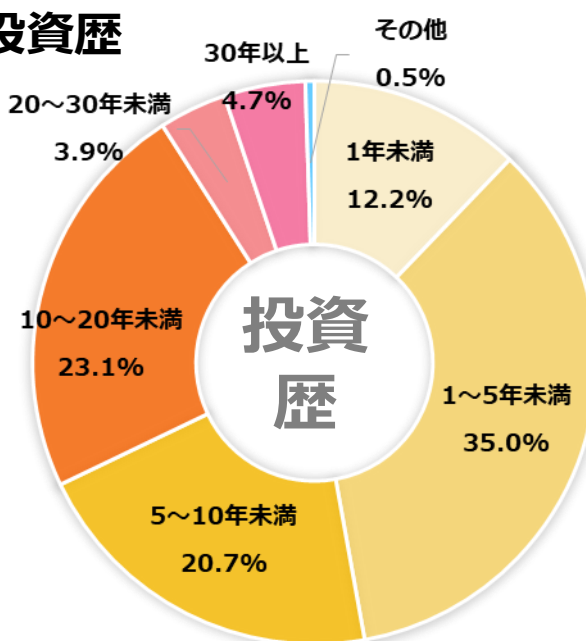
## ■ 年収



## ■ 職業



## ■ 投資歴



※その他 = 投資歴無し、購入予定など

# 5 アンケート回答者の属性

## 職業×年齢

※職業別の年齢ボリュームゾーン上位1位は塗りつぶし

		職業							全体
		会社員	会社役員	不動産経営	医師 弁護士 会計士	公務員	自営業	その他	
年齢	30歳未満	0.8%	0.3%						1.0%
	30～35歳未満	4.2%	1.0%			0.5%	0.3%	1.0%	7.0%
	35～40歳未満	6.7%		1.0%		0.5%	1.0%		9.3%
	40～45歳未満	14.0%	1.0%	2.3%	0.5%	1.0%	1.6%	0.8%	21.2%
	45～50歳未満	15.0%	1.8%	2.1%	0.3%	0.8%	1.3%	0.5%	21.8%
	50～55歳未満	12.4%	1.8%	1.0%		2.6%	1.6%	0.8%	20.2%
	55～60歳未満	4.2%	1.3%	0.5%	0.5%	0.8%	1.8%	0.8%	9.8%
	60歳以上	2.1%	0.5%	2.3%		0.3%	0.5%	3.9%	9.6%
	全体	59.3%	7.8%	9.3%	1.3%	6.5%	8.0%	7.8%	100.0%

## 職業×投資履歴

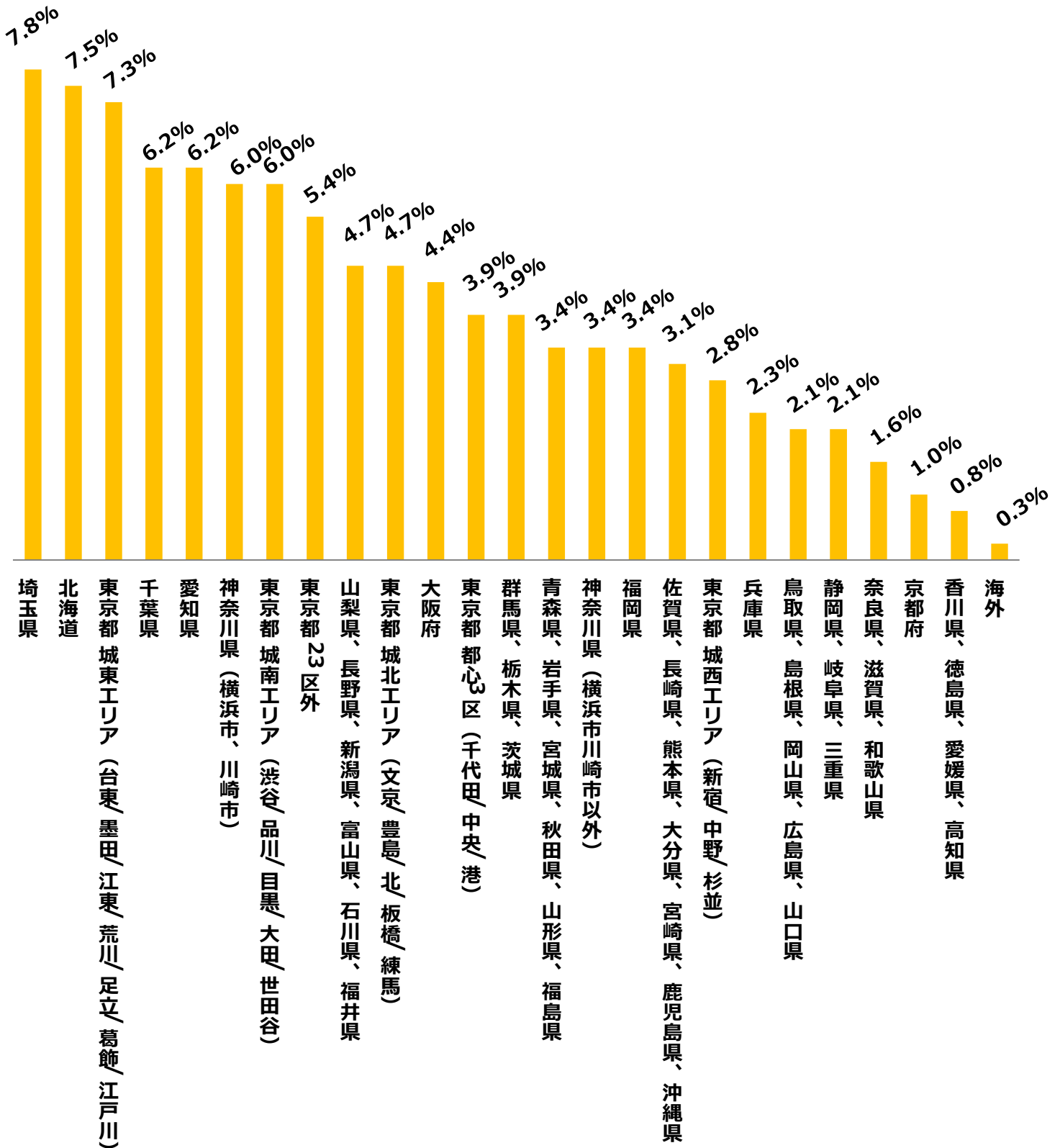
※職業別の投資履歴ボリュームゾーン上位1位は塗りつぶし

		職業							全体
		会社員	会社役員	不動産経営	医師 弁護士 会計士	公務員	自営業	その他	
投資履歴	1年未満	9.8%	0.3%	0.3%	0.3%	0.5%	0.3%	0.8%	12.2%
	1～5年未満	23.3%	2.1%	1.8%		3.1%	2.9%	1.8%	35.0%
	5～10年未満	10.9%	1.0%	3.6%	0.8%	1.6%	1.3%	1.6%	20.7%
	10～20年未満	11.4%	3.4%	2.6%	0.3%	1.0%	2.6%	1.8%	23.1%
	20～30年未満	1.8%	0.8%	0.5%		0.3%		0.5%	3.9%
	30年以上	2.1%	0.3%	0.5%			1.0%	0.8%	4.7%
	その他							0.5%	0.5%
	全体	59.3%	7.8%	9.3%	1.3%	6.5%	8.0%	7.8%	100.0%

※その他 = 投資履歴無し、これから購入予定など



## ■居住地



※調査データを引用する際は、「不動産投資と収益物件の情報サイト 健美家 (けんびや)」と明記をお願いいたします。